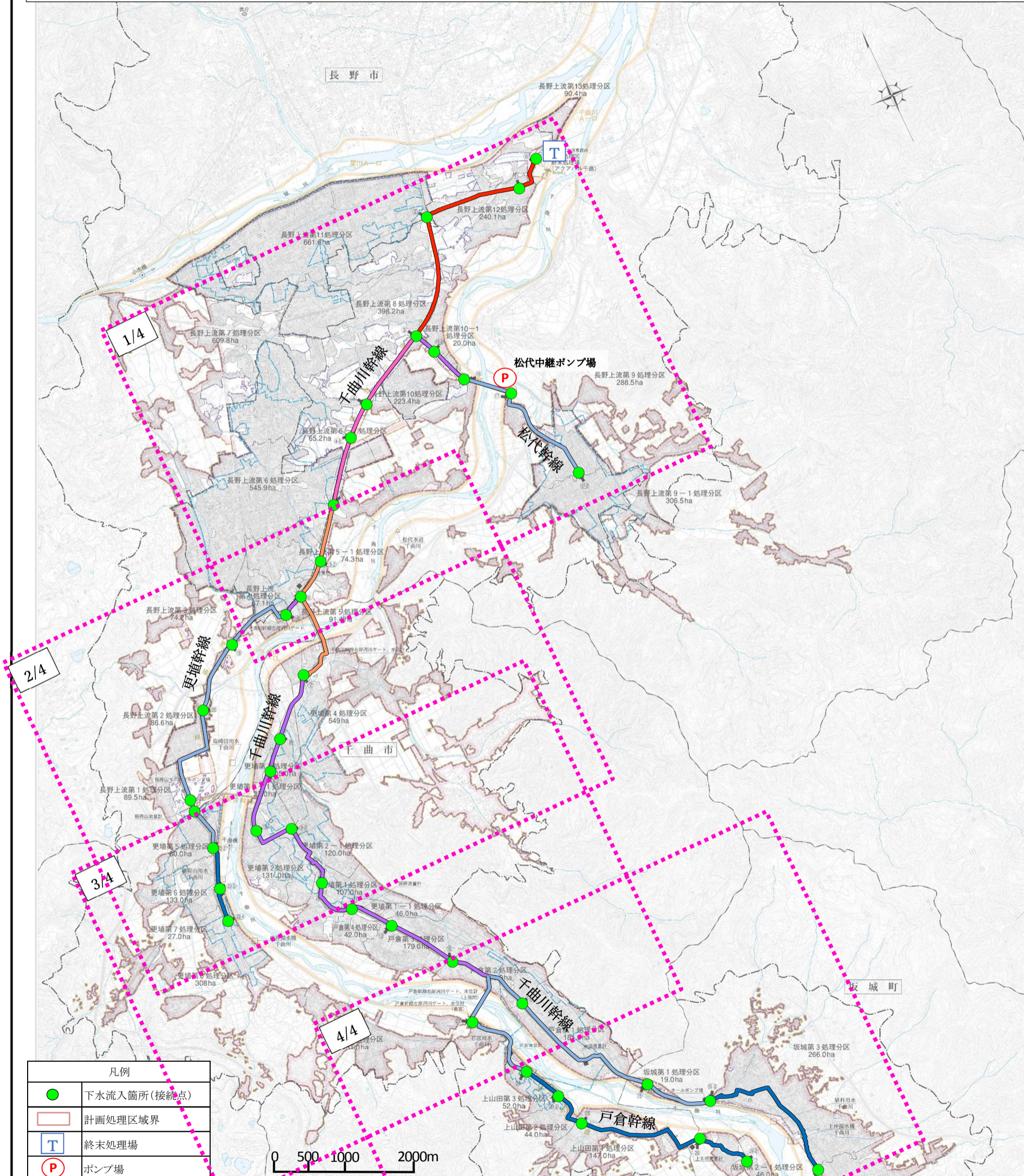


千曲川流域下水道(上流処理区) 下水熱ポテンシャルマップ (夏季 温度差利用5K) 分割表示図

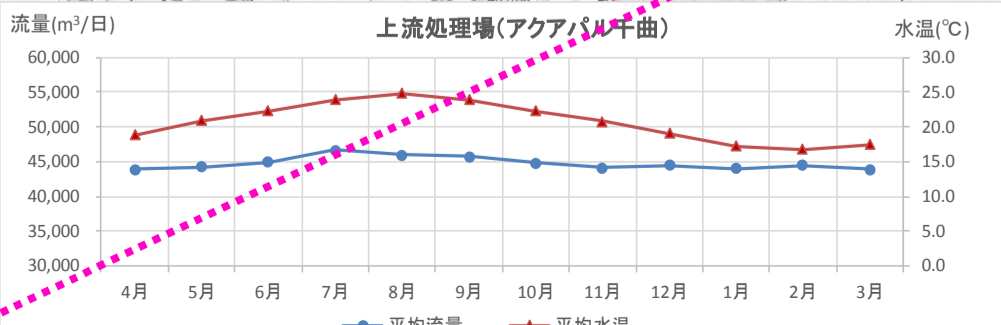


凡例	
●	下水流入箇所(接続点)
□	計画処理区域界
T	終末処理場
P	ポンプ場

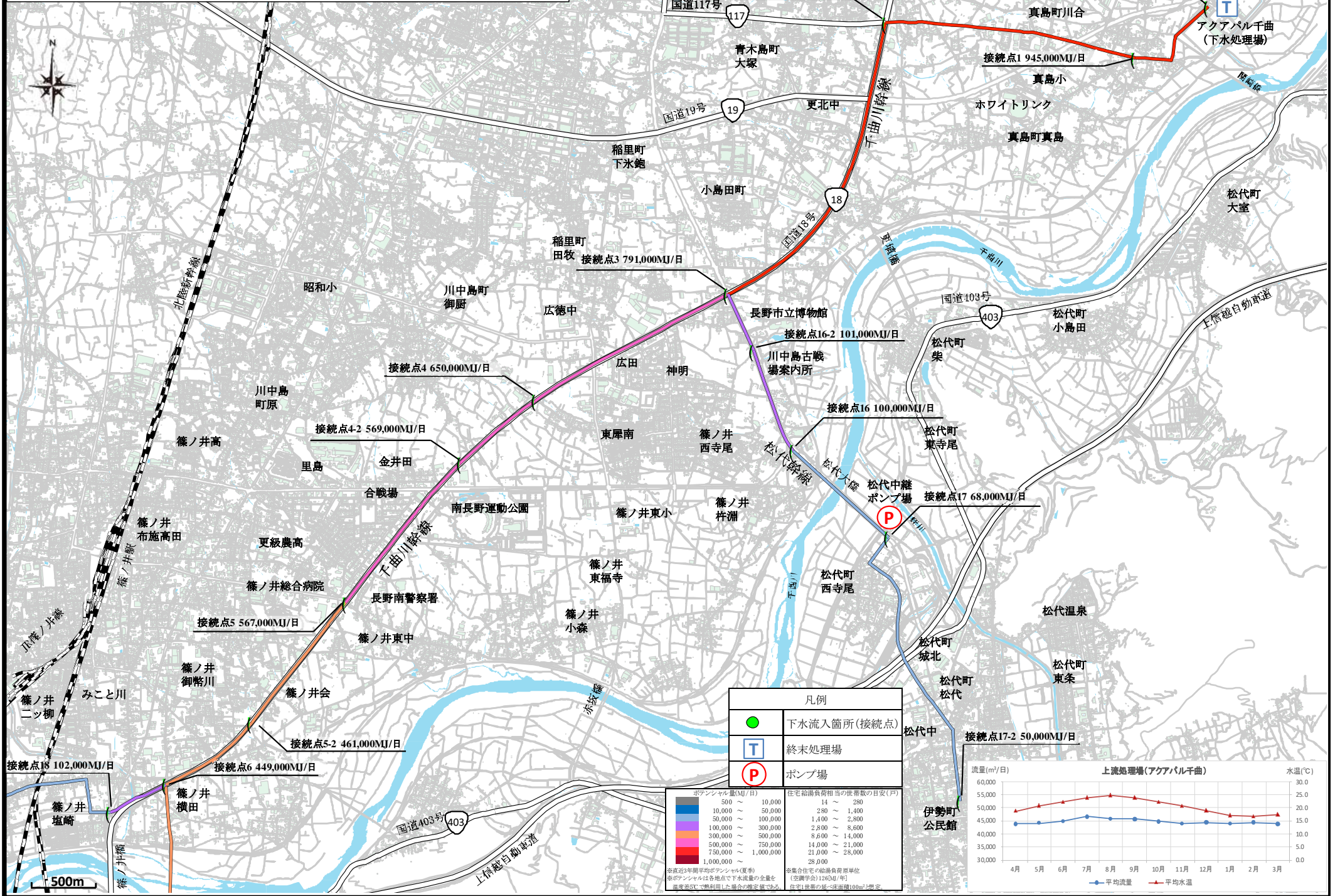
ポテンシャル量(MJ/日)		住宅給湯負荷相当の世帯数の目安(戸)	
500 ~	10,000	14 ~	280
10,000 ~	50,000	280 ~	1,400
50,000 ~	100,000	1,400 ~	2,800
100,000 ~	300,000	2,800 ~	8,600
300,000 ~	500,000	8,600 ~	14,000
500,000 ~	750,000	14,000 ~	21,000
750,000 ~	1,000,000	21,000 ~	28,000
1,000,000 ~		28,000	

※直近3年間平均ポテンシャル(夏季)
 ※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を温度差5℃で熱利用した場合の推定値である。

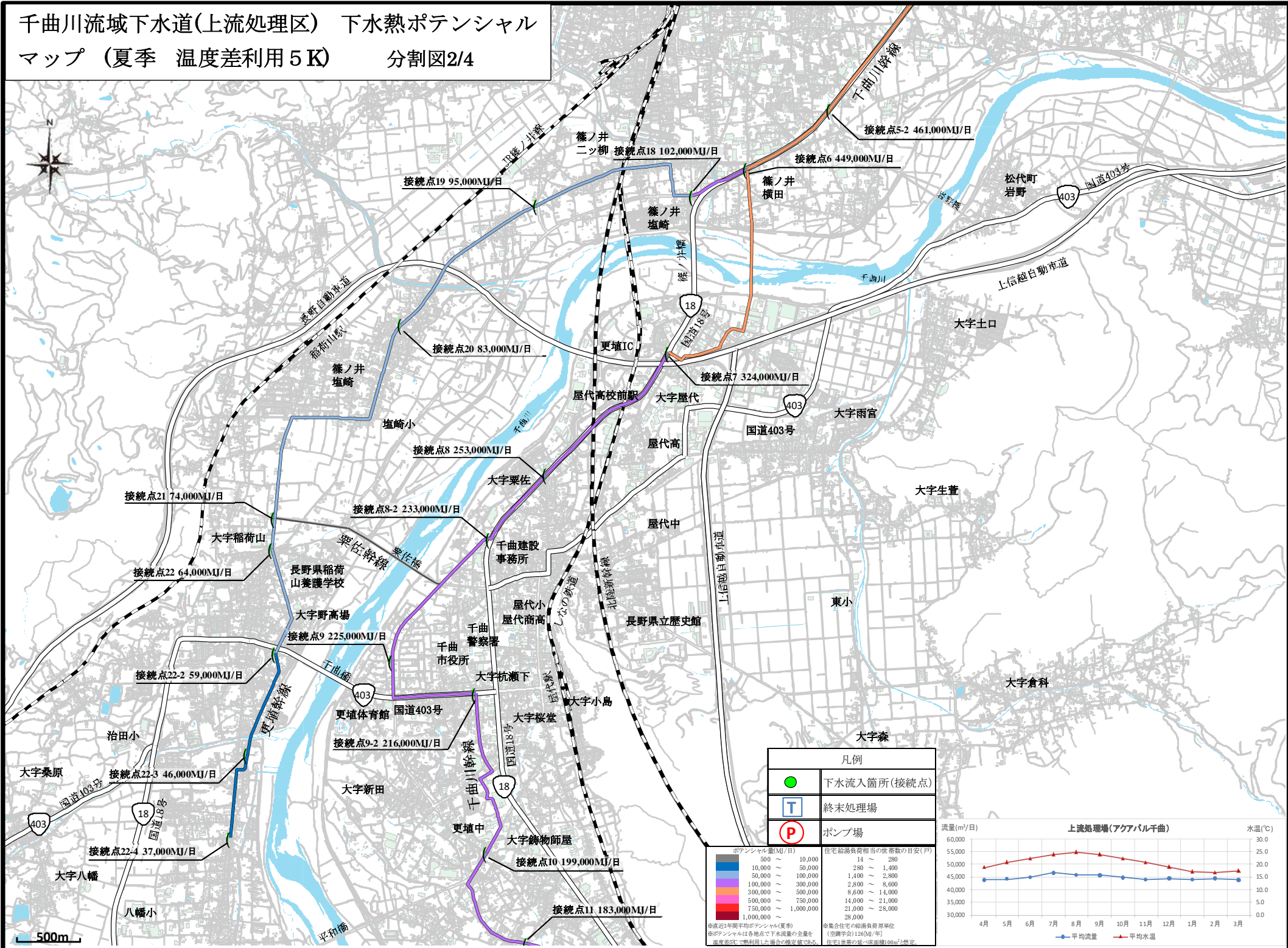
※集合住宅の給湯負荷原単位(空調学会)126[MJ/年]
 住宅1世帯の延べ床面積100m²と想定。



千曲川流域下水道(上流処理区) 下水熱ポテンシャル マップ (夏季 温度差利用 5 K) 分割図1/4



千曲川流域下水道(上流処理区) 下水熱ポテンシャルマップ (夏季 温度差利用5K) 分割図2/4

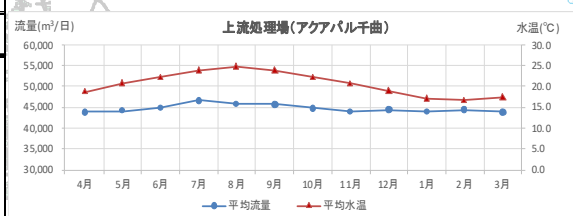


ポテンシャル量(MJ/日)		住宅給湯負荷相当の世帯数の目安(戸)	
500 ~	10,000	14 ~	280
10,000 ~	50,000	280 ~	1,400
50,000 ~	100,000	1,400 ~	2,800
100,000 ~	300,000	2,800 ~	8,600
300,000 ~	500,000	8,600 ~	14,000
500,000 ~	750,000	14,000 ~	21,000
750,000 ~	1,000,000	21,000 ~	28,000
1,000,000 ~		28,000	

※最近3年平均ポテンシャル(夏季)
※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を
温度差5℃で熱利用した場合の推定値である

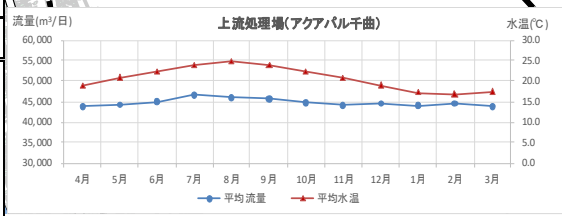
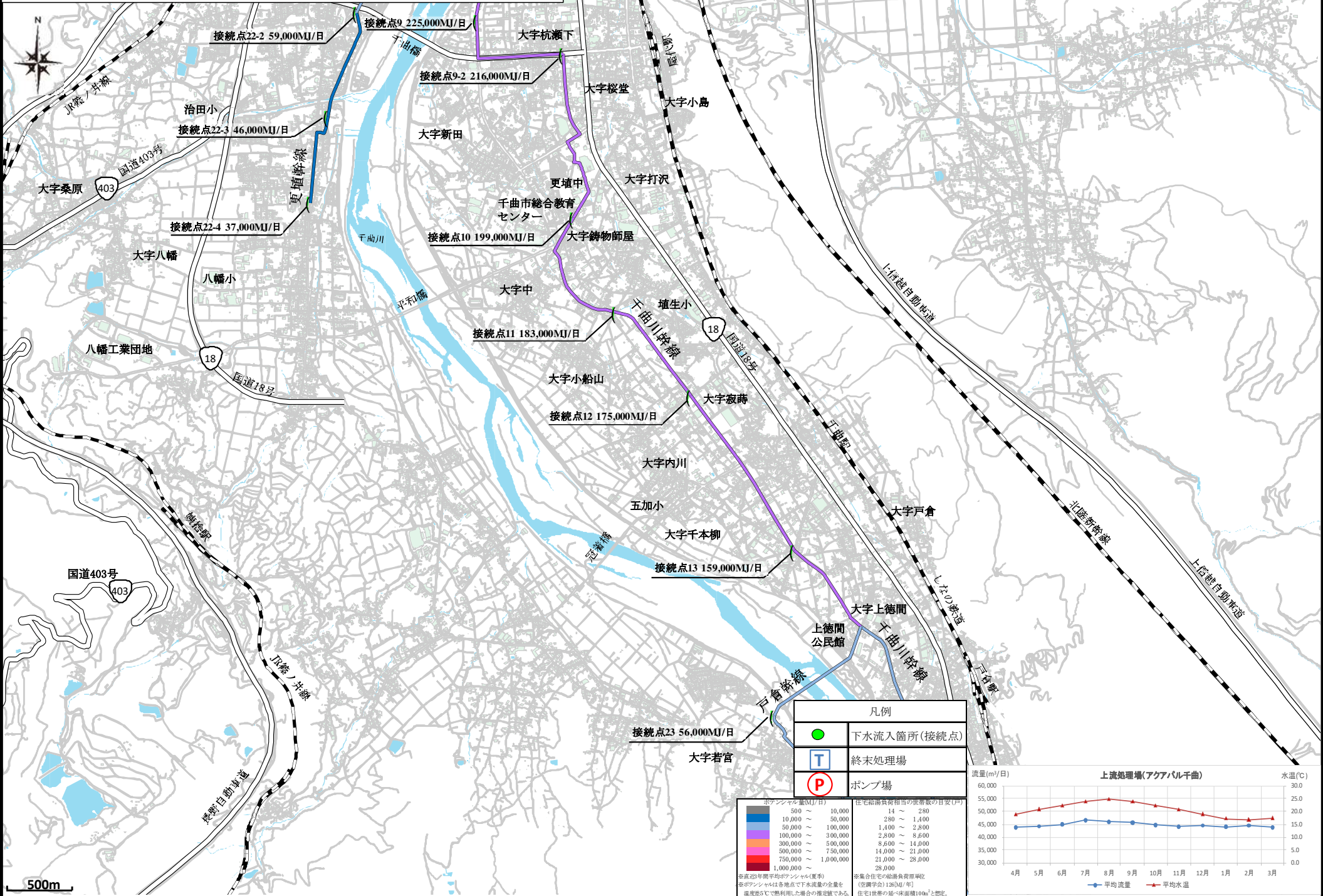
凡例	
●	下水流入箇所(接続点)
T	終末処理場
P	ポンプ場

※集合住宅の給湯負荷推定単位
(空調学会)126MJ/年
住宅1世帯の給湯負荷推定単位
住宅1世帯の給湯負荷推定単位100㎡と想定



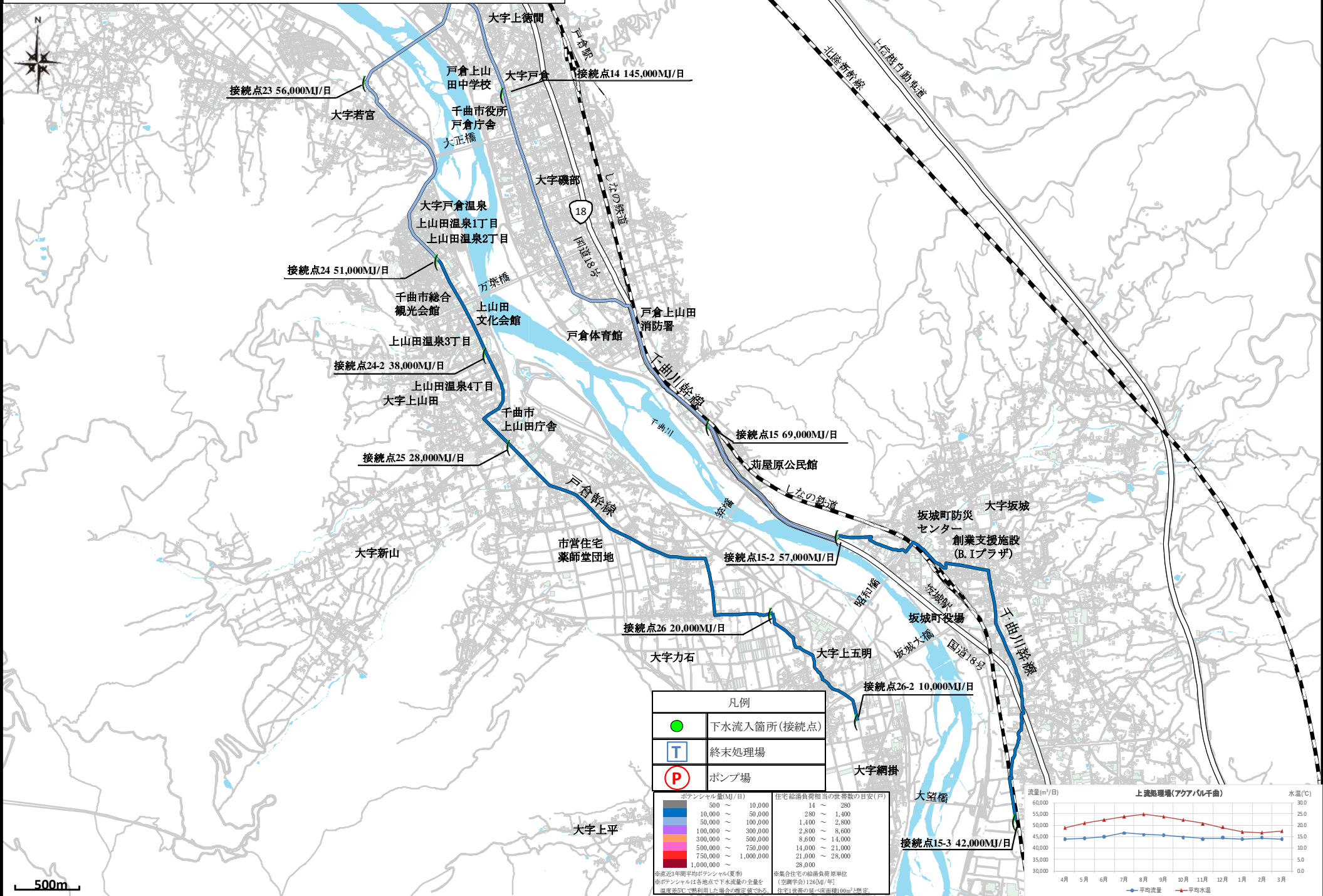
500m

千曲川流域下水道(上流処理区) 下水熱ポテンシャル マップ (夏季 温度差利用5K) 分割図3/4



500m

千曲川流域下水道(上流処理区) 下水熱ポテンシャルマップ (夏季 温度差利用5K) 分割図4/4

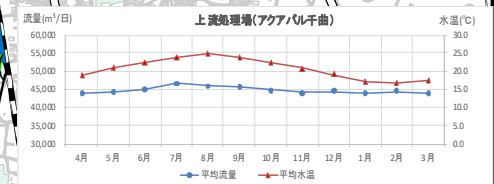


凡例	
●	下水流入箇所(接続点)
T	終末処理場
P	ポンプ場

ポテンシャル量(MJ/日)	住宅給湯負荷相当の世帯数の目安(戸)
300 ~ 10,000	14 ~ 280
10,000 ~ 50,000	280 ~ 1,400
50,000 ~ 100,000	1,400 ~ 2,800
100,000 ~ 300,000	2,800 ~ 8,600
300,000 ~ 500,000	8,600 ~ 14,000
500,000 ~ 750,000	14,000 ~ 21,000
750,000 ~ 1,000,000	21,000 ~ 28,000
1,000,000 ~	28,000

※最近3年間の平均ポテンシャル(夏季)
 ※ポテンシャルは各地点で下水流量の全量を
 温度差5℃で熱利用した場合の推定値である

※集合住宅の給湯負荷目安単位
 (空調学会)126MJ/年
 住宅1世帯の床・S床面積100㎡と想定



500m